

横浜市藤が丘地区センター 指定管理者事業計画書

申込年月日 令和 3年 6月 30日

団体名	公益社団法人 横浜市民施設協会		
代表者名	理事長 松澤 孝郎	設立年月日	平成22年 4月 7日
団体所在地	横浜市青葉区あざみ野2丁目9番地の22の302		
電話番号	045-482-9572	FAX番号	045-482-9573
沿革	<p>私達は、地区センター等の施設運営に関わってきた自治会・町内会の中心的メンバーが、発起人となって設立した社団法人です。</p> <p>地域に寄り添い、気軽に楽しんでいただける施設運営を通じ、地域のコミュニティの絆をさらに強いものにしていくため、なにより「心と心のふれあい」を大切にしています。</p> <p>掲げているスローガンは、「あつまる・つながる・笑顔になる」です。</p> <p>平成22年4月 「一般社団法人 青葉区区民利用施設協会」 設立</p> <p>指定管理者制度の導入を機に、「区民のための施設は地域の意思を尊重して運営したい」と、15の連合自治会と社会福祉協議会のメンバーが結集して設立しました。</p> <p>平成26年2月 「公益社団法人 横浜市民施設協会」へ移行（名称変更）</p> <p>不特定多数の方々の便益の増進に貢献し、公益性の高い事業を継続するため、①文化芸術の振興 ②高齢者の福祉増進 ③児童青少年の健全育成 ④スポーツ等を通じた心身の健全な発達 ⑤地域社会の健全な発達 の5つの分野で公益認定を受けました。</p> <p>活動範囲を区内に限られることなく、市内で活躍する地域コミュニティ組織とも連携し、共に地域の支援・貢献を進めたいとの思いから「横浜市民」に名称変更を行いました。</p>		
業務内容	<p>地域との協働と区役所との連携を念頭に、公益認定を受けた5つの分野と当法人が掲げる次の7つの事業を相互に関係づけながら事業を展開しています。</p> <p>(1) 区民利用施設等の管理運営 (2) 文化・芸術・スポーツ等の講座やイベントなど自主事業の企画及び実施 (3) まちづくりの推進や青少年健全育成の推進 (4) 区民の自主的な活動の支援 (5) 地域活動推進に関する支援 (6) コミュニティハウス等での生涯学習支援 (7) 自治会・町内会等の事務的支援</p> <p>区民利用施設は、地域活動・地域交流、さらには地域防災の拠点としても、重要な役割を担っています。このため、理事長以下役職員は、施設の適切な管理運営はもとより、自治会・町内会をはじめとした地域の声を丁寧に生かした自主事業を行うため、日々研究し改善に努めています。</p> <p>また、地域が取組む独自の住民活動も地域コミュニティ醸成の重要な要素です。このため、地域活動への人的・経費的支援、事務支援等の役割も果たしています。</p>		
担当者連絡先	氏名	■■■■■■■■■■	所属 事務局
	電話	045-482-9572	FAX 045-482-9573
	E-mail	■■■■■■■■■■	

1 応募団体に関すること

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

■ 業務概要

- 1 青葉区の地区センターなど10施設の指定管理者として、適切な施設の管理運営と施設の利用促進による地域住民のふれあいを図ります。
- 2 音楽・絵画・工作教室など文化芸術の振興、青少年の健全育成などの事業を企画し、地区センターや区民文化センターなどの身近な施設での開催を通じて市民・区民の芸術文化の振興をすすめています。
- 3 学校コミュニティハウスの管理では、常に学校長と連携をとって、地域の集いや学習活動の一翼を担っています。
- 4 屋外イベントや少年サッカー・少年野球に利用するスポーツ公園の管理も行います。
- 5 自治会町内会の会議の支援などを始め、民生委員、青少年指導員など地域の青少年・高齢者などを支える団体と協力し、地域社会の健全な発展に向け事業を行っています。



■ 経営方針

公益社団法人横浜市民施設協会は、地域で活動する団体および個人を社員として設立した団体です。

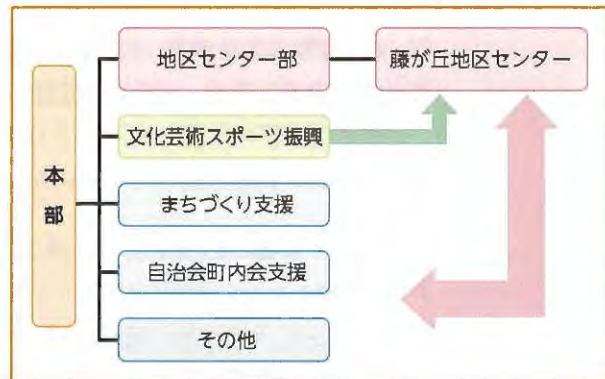
法人の事業目的の柱として、公共施設の管理運営、文化芸術の振興、自治会活動の支援、青少年の健全育成などを掲げ、快適な地域社会の健全な発達に寄与することを経営理念としています。

地域の抱える様々な課題に積極的に寄り添い、社会的信用を維持・向上するため、日々、工夫と改善を重ね、活動しています。

イ 応募団体の業務における藤が丘地区センター指定管理業務の位置づけ

現在の指定管理者による藤が丘地区センターにおけるこれまでの取組も生かしながら、青葉区内で多くの地区センターやコミュニティハウスを管理運営する当法人の管理運営にかかるノウハウや人材、スケールメリットを活用した、施設運営を行います。

青葉台コミュニティハウス～藤が丘地区センター～大場みすずが丘地区センター～山内地区センターといった近隣施設を一体的に当法人が管理運営することで、それぞれの地域特性に加えて相互連携による管理運営が可能になります。このことにより、**地域団体で組織された当法人の掲げる目的である地域の連携が深まっているものと自負**しています。



ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

当法人は、横浜市青葉区の下表17施設、合計で年間100万人を超える方々（平成30年度実績）にご利用いただいています。

管理運営している施設名	業務開始年月	業務区分
地区センター 4館 山内、若草台、美しが丘西、奈良	平成 7年 4月 他	指定管理
単館型コミュニティハウス 3館 青葉台、荏田西、荏田	平成11年 5月 他	指定管理
美しが丘公園こどもログハウス	平成 5年 4月	指定管理
新石川スポーツ会館*1	平成 7年 4月	指定管理
青葉区民文化センター（フィリアホール）	平成25年 4月	共同指定管理
学校併設型コミュニティハウス 6館 鴨志田、さつきが丘、山内、桂台、すすき野、みたけ台	平成 7年 4月	委託
青葉スポーツプラザ*2	平成26年12月	委託

*1 テニス、バドミントン、卓球等のスポーツができる施設

*2 少年野球、少年サッカー、ソフトボール等のスポーツができる屋外施設

2 藤が丘地区センター管理運営業務の基本方針について

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

地区センターは、市民活動・学習や発表の場としての身近な地域の拠点であり、区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」といった目標達成に向けた「誰もがいきいきと、健やかに暮らせるまち」「さまざまな人や地域の活力を高めるまち」「特色を生かして魅力を高めるまち」などを実現する場でもあります。市民ニーズが多様化・個別化する中、自立的に展開する市民の活動をハード・ソフトの両面からサポートするとともに、地域特性を把握し、青葉区の高齢者・障がい者・子育て世代への支援や地域活性化対策等、様々な地域戦略の一端を担う役割を積極的に果たします。

イ 地域特性、地域ニーズ

地域特性

- 1 谷本地区は、昭和40年代に造成された戸建て住宅やマンションの多いエリアであり、藤が丘駅周辺に商業施設やマンション、昭和大学藤が丘病院があります。年少人口12.4%(青葉区平均比▲0.5%)、生産人口67.4%(同+1.9%)、高齢人口20.2%(同▲1.4%)ですが、高齢化対策も課題となります。「オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した藤が丘らしい駅前拠点の形成」を目標とする藤が丘北側の再開発が計画されています。
- 2 上谷本地区は、年少人口11.1%(青葉区平均比▲1.8%)、生産人口63.4%(同▲2.1%)、高齢人口25.5%(同+3.9%)と高齢化が進んだ地域ですが、町内会や地区社会福祉協議会をはじめ多くの関係団体の活動・連携が活発な地域です。

地域ニーズ

『青葉かがやく生き生きプラン：地区別計画』では、【谷本地区】は「子どもからお年寄りまでいつまでも暮らし続けたいまち」を【上谷本地区】は「誰もが気軽にあいさつをかわせる仲のいいまち」を目標に掲げています。「安心・安全」や「交流促進」、「地域活動へのより多くの方の参加」等が求められています。令和元年度に実施された、青葉区区民意識調査では、両地区とも「介護問題の深刻化」と「つきあいの希薄化」が地域の大きな課題として認識されています。

■ 地域の特性・ニーズを踏まえた運営の考え方

地域活動の担い手である、連合自治会・自治会町内会や地区社会福祉協議会、地元商店会、地域ケアプラザ等との連携により、地域特性と地域ニーズに即した運営を実現し、地域活動拠点としての役割を担っていきます。

- 1 地域ニーズや藤が丘駅北口再開発の進捗も踏まえた施設運営を実現するため、連合町内会長や商店会代表、病院代表、小学校・PTA代表といった地域の方々から幅広く意見やニーズ等を伺う場を設けます。
- 2 藤が丘地区センターの存在や活動内容を地域の方により広く知っていただくための取組を充実します。
 - (1) 活発に行われている地域イベントの場に、地区センターとして参加し、顔の見える関係づくりに努めます。
 - (2) 地区センターの活動内容を、HP・館内掲示に加えて、自治会にも協力をいただき積極的にお知らせしていきます。

ウ 公の施設としての管理・個人情報保護等法令遵守体制について

■ 施設管理及び個人情報保護等法令遵守体制

横浜市地区センター条例に基づき、地域の方々が無事に気持ちよく、安全・安心に施設を利用していただけるよう、公平・公正で満足度の高いサービスを提供してまいります。笑顔で明るく丁寧な対応に加えて、コンプライアンス・人権の尊重に努め、地域ニーズに的確に対応した良質なサービスや事業を進めてまいります。

個人情報保護等法令遵守の取組については、横浜市民施設協会として「倫理規程」「個人情報保護規程」「公益通報者保護規程」「コンプライアンス規程」等を定め、法令の遵守及び不正行為の未然防止・早期発見と是正に努めています。

■ 個人情報保護の体制及び取組

個人情報の保護に関する法律等に基づき、横浜市民施設協会が「個人情報保護規程」を制定するとともに、法人として個人情報の適切な管理運用を行うため、事務局長を「個人情報保護総括責任者」とし、各施設の館長を「個人情報保護運営責任者」に任命しています。具体的な事例に基づく検討や話し合いを通じて、個人情報保護の重要性についての意識を高めるとともに、「藤が丘地区センター個人情報保護マニュアル」を作成し、個人情報の適正な取扱いの徹底を図ってまいります。

また、「個人情報取扱特記事項」第12条1項に基づき、「横浜市民個人情報に関する条例」等の内容を十分理解できるよう、全職員を対象に、個人情報保護に関する研修を毎年必修で行っています。

3 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

■ 職員の人員体制

館長以下常勤職員3名と午前・午後・夜間の各班2名が隔週交代で勤務するコミュニティスタッフ（12名）、クリーンスタッフ（2名）による安定的かつ効率的な組織体制とします。館長以下常勤職員は早番（8：40～16：40）、遅番（13：10～21：10）のローテーション。コミュニティスタッフは隔週ローテーションで午前（8：45～12：55）、午後（12：50～17：00）、夜間（16：55～21：05）のそれぞれ2名体制です。クリーンスタッフは1名体制（8：20～11：30）です。

また、第4火曜日は施設の点検・清掃のため休館としますが、この機会を利用して普段一堂に会することが難しい全職員によるミーティングを開催し、情報の共有、スケジュールの確認、研修等を行います。

	午前	午後（12時50分～17時）	夜間（16時55分～21時05分）
平日 （月～土曜日）	館長又は常勤職員（早番1人、遅番1人）		
	午前 スタッフ2名 クリーンスタッフ1名	午後 スタッフ2名	夜間 スタッフ2名
日・祝日	館長又は常勤職員（1名～2名）		
	午前 スタッフ2名 クリーンスタッフ1名	午後 スタッフ2名 夏季は日・祝日18時閉館	

■ 藤が丘地区センターの人員体制の理由

増加する利用者数・多様化する利用者ニーズに対応し地域や利用者との信頼関係を構築する

職種	人	業務内容
館長（常勤）	1	運営管理の総括責任者、地元・関係機関との調整、人材育成、日常業務
常勤職員	2	館長補助、庶務、小口現金・利用料金管理、自主事業、図書管理
コミュニティスタッフ（時給職員）	12	窓口対応、施設の点検等日常業務、自主事業の補助、図書貸出等
クリーンスタッフ（時給職）	2	館内の清掃、施設の点検

- ・今後ますます増大かつ多様化する利用者ニーズへの的確な対応、より良いサービスの提供、利用者の安全性の確保等を考慮し、無駄を省いた最大限の効果を発揮できる体制としました。
- ・日・祝日は現行通り「18時閉館」を継続できるように、シフトの工夫等により対応します。
- ・IT等の活用により、人材の効率化、省力化を図り、さらなるサービスの向上に努めます。
- ・地域の会議、行事、イベントには職員が必ず参加するなど、積極的に地域へ出向き、地域との信頼関係を構築していきます。

■ 協会全体による万全な支援

- ・横浜市民施設協会が管理運営している様々な施設のノウハウを館長会議やリモート会議などを活用して、迅速に質の高いサービスを提供します。
- ・退職等で欠員が生じた場合には、適材適所の人材を迅速に補充するなどの柔軟な対応を取ります。
- ・各々の職員が持つ知識や技術を効果的に活用し、利用者満足度の向上や、職員の一層の資質向上に努めます。

3 組織体制

イ 職員研修計画

■ 職員育成の基本的な考え方

- 1 藤が丘地区センターを、誰もが、気軽に気持ち良く利用していただくと同時に、引き続き利用したいと思っていただけるような公平・公正で良質のサービスを提供することが施設運営の基本です。そのためには、すべての職員が、「利用者に好感を持っていただける接遇」と「施設運営にあたっての基礎的な業務知識と技能」を有することが不可欠です。

様々な機会を捉えて、計画的に研修を実施し、施設内で迅速かつ確に共有できるよう取り組んでいきます。

- 2 青葉区行政区運営方針も基本目標「住みつづきたい・住みたいまち 青葉の実現」に向け「人と地域のつながりづくりの推進」に取り組み地域活動の活性化を図ることがあげられています。市民ニーズが多様化、複雑化する中で、地区センターが地域の活動拠点として「地域のコミュニティづくり支援」といった役割を担っていくには、設置目的を正しく理解し実践していくことが益々重要となります。施設協会として、研修や自己啓発の環境を整備し、職員の育成に取り組んでいきます。

■ 職員研修計画の内容

1 職場内教育 (OJT)

- (1) 接遇研修 (年1回) ……外部講師を招き接客の実践的スキルを磨く
- (2) 接遇研修 (随時) ……法人独自の「接遇ハンドブック」を反復習得、「サービス接遇検定資格」の活用
- (3) 人権啓発研修 (年1回) ……市職員などを講師に招き事例検討を交えて実施
- (4) 個人情報保護研修 (年1回) ……事例検討と討議により実践的に学習
- (5) 防災訓練、AED取扱研修、防災設備研修 (年2回以上)
……消防職員や専門業者を講師として実施
- (6) 地域コーディネーターの養成研修
※毎月休館日に実施するスタッフミーティングや研修の内容を目に見える形で残すと同時に、業務日誌の活用により、職員間の情報の共有を徹底します。

法人オリジナル「接遇ハンドブック」



自主事業【車いす等体験講座】に研修としてスタッフ参加



2 職場外教育 (OFF-JT)

- (1) 新入職員教育 (採用時) ……接遇研修、職務基礎教育等
- (2) 管理者教育 (年1回)
- (3) 職務研修 (年1回) ……管理事務研修、企画研修等
- (4) 安全衛生教育 (年1回) ……衛生管理者を中心に計画的に実施
- (5) 他施設見学 (随時)
- (6) 図書整理・修理実習 ……山内図書館等の協力により実施
- (7) 認知症サポーター研修 ……職員全員が必須受講
- (8) 地域コーディネーター養成研修 ……職場内研修にフィードバック

3 自己啓発助成 (随時)

資格取得、通信教育、セミナー参加等、自己啓発に対する費用を助成

※自己啓発研修にかかる費用の助成 (令和2年度実績)

簿記2級 (1名)、衛生管理者 (1名)、メンタルヘルスマネジメントⅡ種 (3名)、公益法人会計検定試験3級 (2名)

4 その他

職員個々の知識・技能を把握し、職員が自主事業の講師を務めたり、自主事業の企画に生かしたりして、人材育成を図ります。

3 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

■ 地域と連携した防災への取組 ～ 共助活動の支援拠点として

- 1 藤が丘地区センター～は、青葉区防災計画において「帰宅困難者一時避難施設」に指定されています。区役所と連携を取り、緊急時に必要な体制や対応をとれるよう、実地訓練をしていきます。大規模災害等により施設を開設する場合は、少しでも過ごしやすい場の提供や飲料水、トイレの利用など、対応可能なサービスを積極的に提供します。連合町内会長が理事・社員になっている当法人の特性から、地域の主体的な活動も活かしていきます。
- 2 避難所防災訓練にも積極的に参加し、地域の皆さまの共助活動の場として有効に利用いただけるよう配慮していきます。
- 3 自動販売機は、災害時の停電中でも無料で取り出すことが可能な機能を備えたものを設置します。

■ 緊急時（災害、事故、事件、故障）の対応計画

事故の未然防止や発災時に迅速で適切な対応を取るためには、日頃の備えとしての日常点検や必要なマニュアルの整備、またスタッフミーティング時での確認、さらには関係機関を交えた訓練を重ねることが重要です。「いざ」という時に職員一人ひとりが迅速・適切に対応できるよう、以下の取り組みを行います。

1 「緊急時連絡網」の整備

緊急時に、館と法人事務局をはじめ青葉区・警察・消防等関係機関を含めた連絡が取れるよう、緊急連絡リスト及び対処方法を図示した資料を作成し、事務室内に掲示するほか、各人が携帯しています。毎月の職員ミーティング時に全職員で内容を確認しています。

2 「緊急時対応マニュアル」の整備

緊急時は、まず「利用者」、次に「職員」の安全確保、さらに近隣の安全を考慮するという方針のもと、下の緊急時の対応フロー図内、「危機管理対策の基本方針」の項目毎に各施設で施設に応じた緊急時対応マニュアルや消防計画を作成しています。毎月の職員ミーティング時に全職員で内容を確認しています。

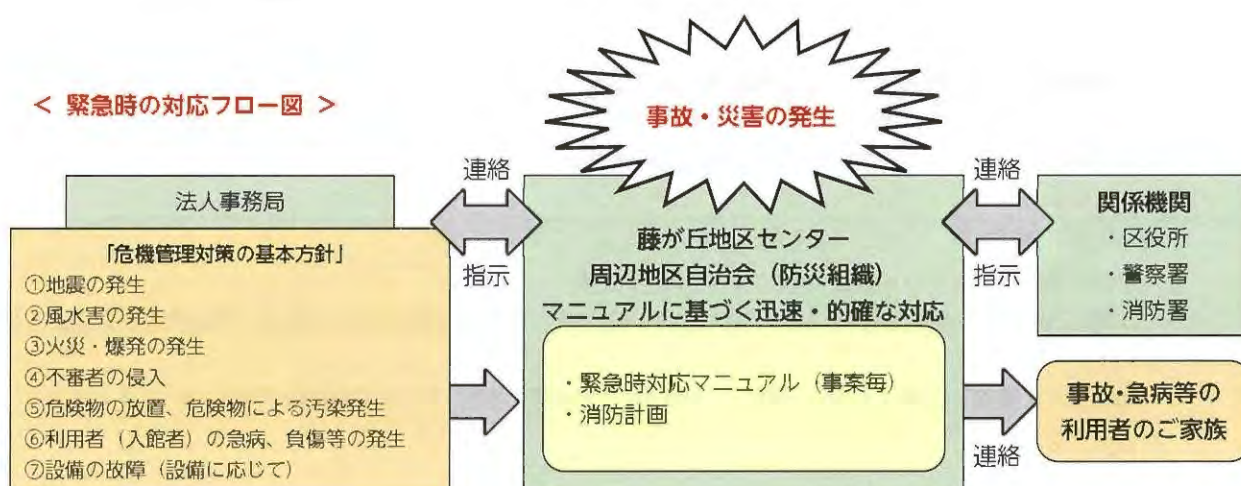
3 迅速な報告・相談

- (1) 施設内での事故や急病人が発生した場合は、直ちに館から「事故連絡票」を使用して法人事務局に報告します。必要な対応は、館と法人事務局で相談の上、青葉区と協議します。
- (2) 施設の利用に重大な影響が予想される事故等が発生した場合は、区との協議と並行して、利用者へのお知らせをするとともに、協会理事長や施設委員会の代表者に連絡をとり、今後の地域への対応について相談します。

4 予防策

- (1) 発災時の消火訓練・通報訓練・避難訓練等、緊急時を想定した訓練を来館者も交え実施します。
(かながわシェイクアウト運動への参加等)
- (2) 運営実績の中で積み上げてきた「事故事例集」を職場研修等で活用し、日常的にはカメラによる監視や館内外の見回りを適時実施することにより事故の未然防止に努めます。
- (3) 緊急事態の備えAEDを備え、定期的に取り扱い研修を行います。

< 緊急時の対応フロー図 >



4 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

当施設は、「地域住民が自主的に活動し、相互交流を深める場」であるという条例の趣旨に沿い、「あつまる・つながる・笑顔になる」施設運営を進めます。そして、青葉区区政運営方針にある「人と地域のつながりづくり」に向け、地域の活動団体等との連携により「地域コミュニティの醸成」、「地域の連携強化」に貢献できる、有意義で身近な場づくりを目指します。

1 世代を超えた地域の仲間づくり・世代間交流

子育て・健康づくり・学習・趣味の場として、また、サークル同士の交流や、世代を超えた交流の場となるイベント（サークル体験会、ロビーカフェ等）を開催し、仲間づくりの輪をひろげます。

2 地域活動の支援

地域団体や近隣の学校・福祉施設等との交流を促進し、共に事業を展開できる関係づくりをさらに進めるとともに、今後も引き続き、地域の様々な活動を支援していきます。

イ 利用促進策

■利用者サービスの向上

- ・地区センターの利用のきっかけ作りとして、まず魅力ある自主事業を開催します。ご利用後は活動を後押しできるよう、インターネット予約の導入や講師の紹介等で活動をバックアップします。
- ・利用する上で発生した要望に積極的に答えることで、市民が利用しやすい環境を整備します。
- ・他の団体との連携や施設を超えた連携を望まれる団体には現在地区センターで培っている様々な施設とのネットワークを駆使して一層の利用者連携にも努めていきたいと考えます。

■夜間利用の促進

当センターの稼働率は、ほぼ65%となっていますが、夜間の利用率は、全時間帯の平均と比べ約10ポイント低くなっています。今後、夜間の利用を高めるため、仕事帰りの方の利用や地域の男性の利用を促す自主事業を企画し、事業終了後は、参加者がグループを立上げ、平日夜間の活動に繋がるよう支援していきます。

■利用促進 PR の充実

行政や区内公的施設や関係団体との連携により、利用促進に向けたPRをしていきます。

- ・センターだよりを関係自治会に回覧していますが、利用促進に効果的な記事を充実させていきます。
- ・ホームページをより見やすく、内容を充実させていきます。

■ サービス向上の取組

- ・コロナ禍において現金の取り扱いを減らし、利便性を深めるためキャッシュレス決済の導入を進めます。
- ・利用者アンケート等で、要望の多い備品の優先整備に努め、利用の満足度を高めていきます。
- ・地域団体（自治会・老人会等）の会合などに計画的な利用を確保するため、優先利用を進めていきます。
- ・個人での部屋の利用について、一週間前より予約ができるよう変更します。1人で利用する場合でも予定が立てやすくなります。

■ 図書コーナーにおける図書の充実と読書環境向上の工夫

- ・希望図書は予算の範囲内で積極的に購入していきます。また、図書の寄贈を積極的に募ります。
- ・スタッフのおすすめ本の紹介、季節やイベントに合わせた本の展示、夏休み読書スタンプラリーなど、子どもたちが読書に親しめる機会を増やし、図書利用目的の来館者の増を目指します。

4 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について（※地区センターのみ該当）

■ 基本的な考え方

現行の利用料金は利用者に広く周知・定着していることから、継続していきます。

【施設利用料金表】

室名	3時間	1時間	夜間割引
小会議室	480円	160円	なし
中会議室	930円	310円	なし
工芸室	720円	240円	なし
ミーティングルームR1	690円	230円	なし
ミーティングルームR2	480円	160円	なし
和室	1	510円	有
	2	510円	有
※料理室	680円	340円	有
体育館	1/3面	630円	なし
	2/3面	1,290円	なし
	全面	1,950円	なし

※料理室のみ2時間を一コマとし、連続二コマ利用可。表示金額は2時間利用の料金

※1 小会議室と中会議室と合せて大会議室として使用できます。

※2 和室1と和室2を合せて和室全室として使用できます。

■ 部屋の使い方からの利用率の向上について

1 利用時間の柔軟な運用

ご利用は原則3時間単位ですが、前後の1時間は延長利用も可とし、また、同日中に同部屋を利用する場合は2コマまで1件として予約を受け付け、部屋の有効利用を図ります。

当日の空き室の利用は団体でも個人でも1時間単位でも利用できます。

料理室のご利用は2時間単位です。

2 個人利用の拡充

団体利用が原則のため、個人の部屋の利用は当日のみ受けていますが、利用日の7日前まで個人利用の予約を受け付けます。

3 備品の整備

利用者のご意見を踏まえ、利用者ニーズにあった設備・備品の充実に努めます。

（現在管理運営している地区センターの実施例）

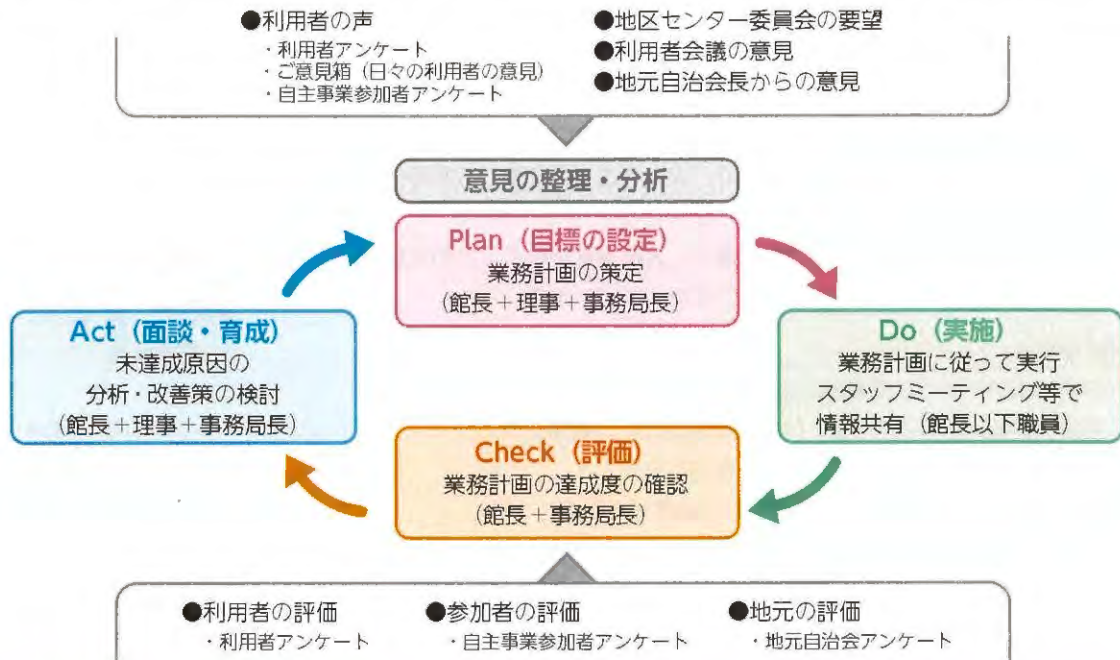
- 広間に折りたたみ椅子設置
- 各室にコートハンガー設置、
- ホール・会議室の床修繕
- 会議室のカーテンレール交換 等

4 施設の運営計画

エ 利用者等ニーズの把握と運営への反映

PDCAサイクルを意識した施設運営

地区センター委員会や利用者会議、利用者の声、地元自治会長からの意見を反映した施設運営を行っていきます。



オ 利用者サービス向上の取組

■ 「接遇ハンドブック」を活用したCS (顧客満足度) アップの取組

- 1 法人オリジナルの「接遇ハンドブック」による研修を繰り返し行い、職員の接遇スキルを向上させます。また、お客様と共感できる職員を育成することにより、CS (顧客満足) から更に一段上のCD (顧客感動) へと、より充実したサービスを提供します。
- 2 研修の成果や利用者からのニーズを踏まえた改善内容等を組織として共有するため、業務マニュアルや研修資料、スタッフミーティング資料等をいつでも確認できるようファイリングすると同時にミーティングで徹底します。

■ 利用者サービスの取組

- ・会議室等に無料の無線LANを提供できる環境整備を進めます。
- ・夏季期間の日曜・祝日の開館時間を午後6時まで延長し、利用者の活動時間に対応します。
- ・ロビーの大型モニターを使用し必要とされる情報提供を行います。
 - ①大きなスポーツイベント等をパブリックビューイングで楽しんでいただきます。
 - ②災害時のニュースや情報番組を視聴できるようにします。
 - ③当法人のホームページや他の施設も含めた自主事業の動画等を見ていただけるようにします。
- ・高齢者や障がい者、乳幼児連れの方、外国人など、困っている人がいたらすぐ行動できるやさしい「こころづかい」の受付ができるよう、ユニバーサルマナー検定受講者による職員研修を実施します。
- ・認知症の方への適切な対応ができるよう職員全員が認知症対応研修 (認知症サポーター養成講座) を受講します。

■ その他

万が一の事故に備え、施設損害賠償保険に加入するとともに、自主事業毎に傷害保険に加入します。

カ ニーズ対応費の使途について

- ・利用料金収入の約3分の1を目途として、利用者の使用する備品・消耗品の購入、修繕等に経費を支出していきます。具体的な使途については、利用者会議・利用者アンケート・「お客様の声」を参考に偏りのないよう執行していきます。
- ・高齢者や子育て世代を意識した対応も重点的に行い、利用者満足度の向上を図ります。

4 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

市政の動向について常に関心を向けて情報収集に努めます。また、市政に関するちらし・リーフレット等を閲覧に架し、市の重要施策については、内容を理解し、一義的な回答ができるよう準備をしておきます。また、青葉区役所の各部署と積極的に連携し、区政推進の一翼を担えるよう努めます。

■ 障がい者支援・人権尊重の取組

- 1 近隣の障がい者福祉施設に、地区センターまつりで作品販売等に協力していただきます。
- 2 地域の障がい者等支援のグループに活動の場を提供します。
- 3 介護施設や地域ケアプラザと協働で、人にやさしい介護の取組等の講座等を事業します。
- 4 人権尊重を接遇サービスの根幹に据え、人権感覚を磨くことの大切さを、当法人の接遇研修や職場研修の中で徹底していきます。



■ 「健康横浜 21」の取組

- 1 ヨガ、エアロビクス等様々な健康づくり教室を開催します。
- 2 当法人施設との連携により「あおば歴史探訪」「青葉を歩こう！ノルディックウォーキング」等を実施します。
- 3 「よこはま健康スタンプラリー」に参加します。
- 4 乳がん予防運動としてピンクリボン啓発事業を実施します。

■ 子育て支援の取組

- 1 親子体操教室、おはなしの部屋など親子で参加できる事業を開催します。
- 2 保健師等の専門家を招いて、地域の子育て支援力のアップを図ります。
- 3 子育て中の親子に交流の場を提供します。
- 4 福祉保健センター主催の地域育児教室に会場を提供します。



■ 読書活動の推進

市の条例及び青葉区読書活動推進計画に基づく、読書活動の場づくりなど環境整備に努め、多世代の読書習慣が深まるための自主活動を支援します。

■ 横浜市中小企業振興基本条例を踏まえた取組

当該条例の趣旨を尊重し、修繕等の発注、物品の購入では、市内地元業者への優先発注に努めます。

■ その他

1 環境への配慮

- (1) 廃棄物のリサイクル・分別を徹底し、ごみゼロの推進に積極的に取り組みます。マイボトル等への取組として、館内に分別箱を設置しPRするなどの対策を行います。
- (2) 利用者の方や近隣のボランティアの協力により緑のカーテンに取り組みます。

2 情報公開の取組

ホームページで当法人の基本的な情報、委員会や利用者会議の議事概要、ご意見箱の声に対する回答など、公表しています。また、議事録や事業計画・事業報告など館に備付け、常に最新情報を閲覧できるようにしています。

3 青葉区内大学や学校との連携

- (1) 地区センターの自主事業に近隣の学生に参加・協力を依頼します。
- (2) 小学校の施設見学や中学生の職業体験等を積極的に取り入れ、学校活動の支援と子どもたちへの施設の周知・利用促進を図ります。

4 女性が働きやすい職場づくり

職員の家庭環境に応じた勤務形態を用意するとともに、意欲と能力の高い職員・スタッフを館長等に登用していきます。

5 自主事業計画

■ 自主事業実施にあたっての基本的な考え方

- 1 利用者や地域ニーズに即した事業を自治会・町内会や地域活動団体、地元商店会、地域ケアプラザ等との協働により実施していきます。
 - (1) 高齢者の健康づくりや介護を含めた終活支援
 - (2) 子どもや若い子育て世代への支援
 - (3) 誰もが安心して暮らせる人と地域のつながりづくり
- 2 自主事業の講師には、市民施設協会内のネットワークや現指定管理者が開拓したネットワークも活かすと同時に、地域活動の担い手や地域ケアプラザ、利用団体、地域の人材活用を積極的に図っていきます。
- 3 利用者アンケートに加え、自主事業参加者アンケートを実施し、その都度、自主事業の評価を行い場ながら、事業の改善と新規事業の開拓を図っていきます。

■ 展開する主な事業

高齢者の健康づくり・ 生きがいくり支援

※地域ケアプラザ等関係機関との協働

- ・ロコモ予防体操教室
- ・ヨガ教室
- ・歴史・文学講座
- ・介護予防・エンディングノート講座
- ・福祉体験教室
- ・認知症サポーター養成講座

等

子どもや 若い子育て世代支援

※参加費はできるだけ無料・安価に設定

- ・子どもや親子を対象としたクラフト教室
- ・楽しいリトミック教室
- ・本の読み聞かせ教室
- ・小学生料理・インスタ映えするお弁当教室
- ・現代の子育て相談

等

人と地域の つながりづくり

※多世代が参加できる事業を地域と共同で実施

- ・七夕まつり・ハロウィン・ひなまつり等伝統行事にちなんだ事業
- ・気軽に参加できるコンサート
- ・防犯・防災講座
- ・地区センターまつり

等

自治会町内会や地域の活動団体、地域ケアプラザ、小中学校、地元商店会等との協働により実施します。

■ 地域活動拠点としての役割

地区センターは地域の方々の自主的な活動や相互交流を促進する役割を担っています。団体や個人が、地域とつながり、特色を発揮する具体的な仕組みを提供することで、地域活動の担い手として活躍する人材の発掘・育成を進めていきます。

また、地域のイベントに参加し顔の見える関係づくりを構築したり、他施設との連携を強化していくことで、新たな取組みを展開し、地域課題の解決に取り組む場づくりを支援します。

- 1 当法人が運営する他施設とのコラボ事業や人事交流 → 歴史探訪・ノルディックウォーキング等
- 2 ラフル・ラフルサテライト（子育て支援拠点）との連携 → 出張おやこのひろば等
- 3 昭和大学藤が丘病院をはじめとする、周辺の医療機関との連携 → 医療講座・健康づくり講座等
- 4 近隣地区センター等との密接な情報共有・協働事業の開催 → コミュニティカフェ等
- 5 地域ケアプラザ等との協働事業 → 認知症カフェ・認知症サポーター養成講座等
- 6 駅周辺商店会とのイベント開催 → スタンプラリー・ハロウィン等

6 施設及び設備の維持管理計画

■ 基本的な考え方

- ・職員による日常の点検・清掃と地域サポーターによる植栽・修繕、専門業者による定期点検・保守により、お客様や職員が安全・安心に、清潔・快適に利用できる施設となるよう、維持管理を進めていきます。
- ・故障や事故発生時は「事故連絡票」を活用して事務局や区役所と連携を図りながら、迅速に対応します。
- ・市民施設協会として、各施設における施設・設備の修繕の必要性や緊急度を見極めた中期修繕計画・保全計画を作成し、スケールメリットも生かして財源の確保に努めます。
- ・各施設では、日頃の点検・保守の結果に基づいた早目の修繕を行うなど、施設及び設備の長寿命化を図っていきます。日常点検で気づいた不具合については、具体的な内容や写真により記録を残します。

■ 職員による日常点検・巡視、清掃

- ・日常業務の一環として点検・巡視を毎日行い、施設や設備の不具合の早目の発見と対応を目指します。
- ・利用終了後、職員から利用者の皆様に「施設・設備等に何か不具合等はありませんでしたか」と、必ず声掛けを行います。また、窓口に気軽に気付いた点をご連絡頂けるように、ご意見箱をロビーに設置し、一層の情報収集に努めていきます。これにより、職員が気付かない不具合等にも迅速に対応します。
- ・冷暖房の適切な温度設定について、室内に目標数値を掲示することで、お客様のご理解とご協力を頂くとともに、空室等の消灯の徹底など、日常管理面での省エネルギー対策を進めます。
- ・日常清掃は、職員が、毎日、開館時と閉館時に作業・確認に当たります。

■ 地域サポーターによる清掃・修繕

地域のスキルを持った方々に協力をいただき、植栽や修繕等を実施します。

■ 専門業者による定期的な点検・保守、清掃

- ・機械警備・空調機保守・建物全般の点検、清掃等、それぞれの分野について、専門性の高い事業者を適切に選定し、その事業者と連携して、年間の維持管理計画を立てていきます。業種によっては、法人の管理施設をまとめて契約することにより、大幅なコストダウンを目指します。

管理項目		内 容	回 数	実 施 者
建物外構	電気設備	点検	隔月	専門事業者
	空調設備	点検・清掃	冷暖房切替時など	専門事業者
	エレベーター	点検	月1回	専門事業者
	建物・敷地	建築基準法12条点検	年1回	事業者（市）
	消防設備	点検・保守	年2回	専門事業者
	室内	ワックス掛け・清掃	月1回（休館日）	専門事業者
植栽	剪定等（芝生、高木）	剪定・消毒	年3回	専門事業者

■ 修繕

- ・必要な修繕は、複数業者から見積を取りながらヒアリングを行うなど、適切な業者選定を行います。
- ・大規模な修繕が必要な場合は、区・局に早目に相談をして適切な対応が取れるよう努めます。

■ お客様への働きかけ

- ・お客様が出したゴミの持ち帰りや施設の美化への協力について、声かけやポスター等で啓発します。
- ・こまめな消灯、過度の冷暖房の使用抑制による節電・節水の働きかけや、照明の全館LED化の促進。

■ 経費削減の取組

- ・館独自の「省エネ指針」を作成し、地球温暖化対策に取り組むとともに、経費削減に努めます。
- ・簡単な修繕については、職員の対応により経費の節減を図ります。

7 収支計画（収入計画）

ア 収入計画の考え方について

- 1 収入については、① 横浜市からの指定管理料、② 利用料収入、③ 自主事業収入、④ 雑収入、を合算し、健全な施設運営に充てていきます。
- 2 当法人は、公益法人として、健全で安定的な運営が継続できるよう収入の確保に取り組みます。
 - 1 指定管理料

青葉区役所との協定に基づき、適切に管理するとともに、年に4回運営状況を報告していきます。
 - 2 利用料収入

インターネットによる部屋予約システムの改善と、利用者ニーズに柔軟に対応した予約方法への変更や、稼働率の低い時間帯での自主事業の開催やサークル化を進めることで、部屋利用料金を増やします。
 - 3 自主事業収入

原則として、材料費や講師謝金の経費に見合う金額を参加者負担として徴収します。自主事業全体の中で収支の均衡を図ります。仮にそれがプラスの場合は、利用者に還元していきます。
 - 4 雑収入（自動販売機手数料、印刷代金など）

利用者サービスの一環で、災害時に非常飲料として活用できる自動販売機を設置し、その手数料を館の収入とします。地域の皆さんの利用に供する印刷機やコピー機を設置し、実費相当を徴収します。企業のポスター掲示等での広告収入の確保も進めていきます。
- 3 寄附金収入

公益法人としての存在を広くPRするとともに、寄附者に対する優遇税制を活かし、法人の活動内容等を支援してくださる方々からの寄附を募り、施設の管理運営を含む法人活動に役立てていきます。
- 4 新型コロナ禍のような予期せぬ事象が起きた時には、雇用調整助成金をはじめとする助成制度を積極的に活用し、資金確保に努めます。

イ 増収策について

■ 部屋の稼働率アップ

- 1 当日1時間単位での利用、個人利用の事前受付を拡大します。
- 2 空き室を活用した自主事業を実施します。
- 3 Web（インターネット）予約を実施します。
- 4 環境整備と接客向上によるリピーターの確保

■ 「寄附へのお願い」の取組など

横浜市民施設協会は、寄附をした個人や法人に対する税制優遇措置が受けられる団体として公益法人の認定を受けています。公益法人は、会費と寄附も重要な収入源です。「寄附へのお願い」を、広くホームページやチラシなどで個人や法人にPRしていきます。

■ 収入計画の積算根拠

収入項目	予算額（千円）	積算根拠
利用料収入	3,942	同規模施設を参考に算出
自主事業収入	2,284	同上
自動販売機手数料	1,168	同上
印刷代等	371	同上
合計	7,765	

7 収支計画（支出計画）

ウ 支出計画の考え方について

■ 基本的な考え方（特徴・独自性・実現性）

- ・サービスの維持・向上を基本に、必要な経費を確保したうえで、経費の節減を進めます
- ・多数の施設を管理運営するスケールメリットを活かした施設協会全体としての効率的な執行や管理運営方法の工夫により健全で安定的な運営が継続できるよう取り組みます
- ・業務改善を進め、効率的な事務執行により、コストの削減を図ります
- ・経費のチェック体制を強化し、無駄な経費を抑制します

■ 経費削減の取組

1 共通物品の在庫管理の徹底

コピー用紙、プリンタトナー等の全館共通物品については、複数館を管理しているスケールメリットを活かして在庫管理を徹底し、経費を抑えます

併せて、感染症対策にかかる衛生用品についても一括購入により経費削減に努めます。

2 委託業者の適切な選定

- ・当法人は地域の中立的な公益法人なので、同じグループ会社にメンテナンスを全て委託するようなことはありません。
- ・委託業者の選定にあたっては、複数の事業者を対象に価格や業務内容のヒアリングを行い、経費の削減を含め適切な選定に努めています。

3 事務経費の抑制

事務経費（事務局本部経費）については、事務の一元化・効率化に必要な最低限を確保することとし、指定管理料の全てを有効な施設運営に充てることを目標として、抑制を図ります。

ちらし、ポスターの裏面利用等を引き続き進めていきます。

4 職員による日常管理の取組

植栽（主に中低木）は、職員がこまめに手入れすることで、専門業者への委託費用を抑えます。また、小破修繕や簡単な工作は、可能な限り職員が行うようにしていきます。

5 省エネ指針の作成と取組

施設の特性に応じ省エネルギーの取組をまとめた「省エネ指針」を作成し、それに基づき節水や消灯、温度管理などの取組をご利用の皆さんの理解と協力を頂きながら進め、経費の削減を図ります

8 新型コロナウイルス感染症等にかかる対応

■ 基本的な考え方

- 1 「利用者に安心・安全にご利用いただく」ことを最優先に、横浜市のガイドラインに沿って、適宜的確に新型コロナウイルス感染対策を講じながら運営していきます。
- 2 地域の活動拠点といった役割を引き続きになっていくため、新しい時代の「新しい生活様式」に即した施設の運営を目指していきます。
- 3 地域における「共助」の取組をバックアップし、健康かつ安心・安全で豊かな地域社会をつくり市民の自発的な活動を切れ目なく支援できるよう、従来の実績に加え、新たな発想を生かして取り組んでいきます。

■ 具体的な取組 … 当法人指定管理施設での取組例

安心・安全に利用いただくことを最優先に、横浜市のガイドラインを反映した対策を講じると同時に、迅速かつ、わかりやすく丁寧に、HPや館内掲示等により周知を図っていきます。

- 1 神奈川県感染症防止対策の取組に参加（令和2年7月事業所登録）し、拡大防止に取り組んでいきます。
 - ・ソーシャルディスタンスを確保できるように、会議室・交流サロン及び自主事業参加者の定員を設定
 - ・手洗いや手指の消毒、マスクの着用の徹底
 - ・十分な換気、設備等の消毒



感染症対策の取組
【エントランス設置】
【館内掲示】

■ 今後の施設運営

1 自主事業開催の工夫

- ・参加者数を定員の50%に制限し、1回ごとの時間を短縮して複数回実施することで、利用者の参加機会を確保しつつ「三密」を避けるように工夫
- ・利用団体の作品・活動発表の動画・静止画をオンラインで定期的に発信
- ・講座のリモート開催…実施施設に来なくても、多くの方が自宅や他の地区センターでの受講が可能に
- ・各施設で実施・作成した自主事業動画専用のHPをつくり、好きな講座を自由に視聴できる環境を整備

2 利用料金収入減への対応策

- ・個人利用の予約条件を緩和（7日前から予約可能に）
- ・会議室等への無線LAN（Wi-fi）の整備により、リモートを活用したサークル活動を可能にする
- ・PRの強化
 - ①ホームページ、SNS、地域のFMやミニコミ誌への積極的な情報提供
 - ②小中校長会やPTA会合等でのPR、福祉施設等への出張PRなど
- ・デジタルサイネージを活用した地域情報の発信により、新しい来館者を増やし、寄附などによる支援をお願いする（寄附金収入増）。
- ・リモート発信やYouTubeの撮影場所としての部屋貸出を推進

3 感染防止の観点で踏まえた予約受付の提案

- ・直接の現金授受をなくすキャッシュレス決済の導入（自動レジスター、プリペイド方式等の導入）
- ・窓口において口頭での利用説明をできるだけ減らし、フリップや画像・音声で対応
- ・WEB予約しやすいよう受付時間を前倒し、来館による申込みからの移行促進（感染症対策・利用者負担軽減）
- ・WEB予約を推進するため、利用者用に「予約方法説明会」をスマホ講座として実施

4 インターネットを活用した情報発信の推進

地域の知識・経験が豊富な方を講師にした講座を開催し、操作方法や取扱いに不慣れな方を支援します。併せて、インターネットに不慣れな方に情報をお届けするため、自治会回覧等による紙媒体での情報提供も継続します。

横浜市藤が丘地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【施設協会コラボ】							
クラシック音楽の聴き方 〈フィリアホール共催〉	一般	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	40名						
	無料						
ピンクリボン活動	一般	4,000	4,000	0	0	4,000	0
	定員なし						
	無料						
【高齢者等地域の健康づくり・生きがいがづくり支援】							
シルバー健康体操(A・B・C) 30回	一般	960,000	0	960,000	800,000	60,000	100,000
	240名						
	3,000円						
やさしいヨガ (Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期) 各6回	一般	200,000	0	200,000	145,000	20,000	35,000
	100名						
	2,000円						
ロコモ予防体操 10回	一般	150,000	0	150,000	120,000	20,000	10,000
	50名						
	3,000円						
みんなでハマトレチャレンジ 6回	一般	140,000	0	140,000	120,000	10,000	10,000
	70名						
	2,000円						
ノルディックウォーキング 3回	一般	10,000	0	10,000	0	5,000	5,000
	10名						
	1000円						
歯科医師に学ぶ口腔ケア	一般	4,000	2,000	2,000	3,000	0	1,000
	20名						
	100円						
歌って健康 10回	一般	120,000	0	120,000	100,000	0	20,000
	40名						
	3000円						
からだチェック測定会	一般	0	0	0	0	0	0
	200名						
	無料						
認知症サポーター養成講座 2回	一般	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	25名						
	無料						

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【人と地域のつながりづくり…世代間交流】							
ロビーコンサート 2回	子ども～大人	24,500	24,500	0	22,000	0	2,500
	-						
	無料						
小さなチャリティーバザー	子ども～大人	4,000	4,000	0	0	2,000	2,000
	-						
	無料						
こいのぼりを作ろう	子ども～大人	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	-						
	無料						
ハロウィンイベント	子ども～大人	1,000	0	0	0	1,000	0
	-						
	無料						
新春囲碁大会	子ども～大人	58,000	0	58,000	0	54,000	4,000
	42名						
	1500円						
おもちゃの病院 2回	子ども～大人	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	-						
	無料						
たなばたを楽しむ	子ども～大人	2,500	2,500	0	0	2,500	0
	-						
	無料						
映画上映会 2回	子ども～大人	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	-						
	無料						
車椅子等福祉体験講座 2回	一般	2,000	2,000	0	0		2,000
	25名						
	無料						
【趣味・教養】							
Chat in English 9回	一般	91,000	1,000	90,000	90,000	0	1,000
	20名						
	500円						
源氏物語講座 3回	一般	40,000	0	40,000	30,000	3,000	7,000
	40名						
	1000円						
外国語でカフェ 4回	一般	40,000	0	40,000	30,000	3,000	7,000
	20名						
	500円						

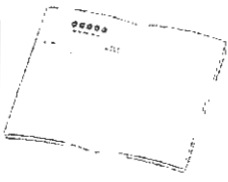
事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
地元の歴史・文化散策	一般	6,000	2,000	4,000	5,000	0	1,000
	20名						
	200円						
パン作り	一般	21,000	1,000	20,000	7,000	10,000	4,000
	20名						
	1000円						
地場産野菜料理	一般	17,000	1,000	16,000	5,000	10,000	2,000
	16名						
	1000円						
和菓子作り 4回	一般	73,000	33,000	40,000	28,000	35,000	10,000
	10名						
	1,000円						
クリスマスケーキ作り	一般	20,000	0	20,000	5,000	10,000	5,000
	16名						
	1000円						
【子育て支援】							
おはなし会「まほうのとびら」 10回	親子	20,000	20,000	0	20,000	0	0
	50名						
	無料						
今どきの子育て事情 1回	一般	6,000	6,000	0	5,000	0	1,000
	50名						
	無料						
インスタ映えするお弁当 1回	一般	20,000	0	20,000	10,000	10,000	
	20名						
	1,000円						
ふれあい親子リトミック 10回	親子	61,000	1,000	60,000	60,000	0	1,000
	20組						
	300円						
【防災への取組】							
救命講習会	一般	0	0	0	0	0	0
	50名						
	無料						
防災食講座～かながわシェイ アウトも体験～	一般	0	0	0	0	0	0
	20名						
	無料						


事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
【わんぱくホリデー】							
放課後クラフトくらぶ 8回	小学生	25,000	13,000	12,000	8,000	15,000	2,000
	15名						
	100円						
科学講座	小学生	11,000	5,000	6,000	5,000	6,000	0
	20名						
	300円						
母の日のプレゼント	小学生	13,000	3,000	10,000	5,000	8,000	0
	20名						
	500円						
父の日の親子クッキング	小学生と保護者	11,000	5,000	6,000	5,000	6,000	0
	12名						
	500円						
夏休み読書スタンプラリー	幼児～中学生	3,000	3,000	0	0	0	3,000
	100名						
	無料						
夏休みサッカー体験！	小学生	8,000	5,000	3,000	0	0	8,000
	30名						
	100円						
夏休み将棋教室 3回	小学生	12,000	(2,000)	14,000	9,000	0	3,000
	20名						
	700円						
夏休み卓球教室 3回	小学生	20,000	0	20,000	18,000	1,000	1,000
	20組						
	1000円						
夏休みプログラミング体験 1回	小学生	6,000	1,000	5,000	5,000	0	1,000
	10名						
	500円						
高校生と一緒にラグビー体験！ 1回	小学生親子	6,000	0	6,000	0	6,000	0
	20名						
	300円						
おこづかいセミナー 3回	年中～低学年	0	0	0	0	0	0
	15名						
	無料						


事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
おまつり和太鼓 3回	小学生	16,000	0	16,000	15,000	1,000	0
	16名						
	1000円						
みんなで書道 2回	小学生～中学生	7,000	1,000	6,000	6,000	1,000	0
	20名						
	300円						
バレンタインのお菓子を作ろう! 1回	小学生	12,000	5,000	7,000	5,000	6,000	1,000
	10名						
	600円						
【共働き世代の応援】							
夏休みランチ会 4回	小学生	22,000	4,000	18,000	12,000	0	10,000
	15名						
	300円						
合計		2,284,000	164,000	2,119,000	1,708,000	314,500	261,500
【ニーズ対応】							
地区センターまつり	こども～大人	ニーズ対応費 150,000	ニーズ対応費 150,000				ニーズ対応費 150,000
	定員なし						
	無料						
合計		150,000	ニーズ対応費 15,000	0	0	0	150,000


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【施設協会コラボ】 クラシック音楽の聴き方 〈共催〉 フィリアホール	フィリアホール(当協会がJVとして指定管理に参加)のコンサートに焦点を当て、敷居が高いと思われるがちなクラシックコンサートの前に、音楽家たちの生きた時代等その制作背景を学びコンサートをより深く楽しめるようにします。	10月 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【施設協会コラボ】 ピンクリボンパネル展示と触診体験	かながわピンクリボン協会との共催で、乳がん撲滅のための啓発事業を、9館で1週間ずつ展開します。お客様もスタッフも女性の多い施設であり、同時に、男性のお客様への啓発も行うことができます。パネル展示や乳房模型でのしこり触診体験を通して、定期的な自己触診と乳がん検診受診の大切さをお伝えします。また、ピンクリボンピンバッジ・ストラップ等のチャリティー販売を通して、かながわピンクリボン協会の活動支援のための寄附とします。	2・3月 全9回当館開催1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【ニーズ対応】 地区センターまつり	当館を利用しているサークルが中心となり、日ごろの活動の成果を発表します。地域の老人施設・ボランティアグループ・野菜の生産者などの協力でカレーやコーヒー・新鮮な野菜の販売も行います。ちびっこ広場ではゲームなども楽しめます。6月にセンターまつり準備会議を開催し、参加者の意見を中心に企画します。地域とセンターが一丸となる大イベントで、毎年来館者も多く好評を得ています。	11月 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 シルバー健康体操 A・B・Cコース	高齢者向けの健康体操で、ストレッチ・エクササイズ中心のゆったりしたAコース・体操初心者の方でも安心な体ほぐしが中心のBコース・しっかり動きたい方を対象にしたCコースと無理せず参加できる3コースを用意して、いろいろなニーズに対応している人気の当館看板講座です。年間を通して継続して開催することで、運動の習慣付けと仲間作りの場でもあります。	4月～3月(8月は休み) 30回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 やさしいヨガ （Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）	30代から80代まで幅広い年代が参加する、人気の初心者向けのヨガ講座です。 基本的なポーズを中心に、はじめての方にも安心なやさしいヨガです。令和2年度で13年目になりますが、リピーターも多く年々参加者が増えています。	5月～6月 6回 9月～10月 6回 1月～2月 6回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 口コミ予防教室	健康な生活を送るために必要な運動機能を維持できるよう、身体各部の筋肉を鍛えていきます。 脳トレゲームも組み合わせて、楽しく笑って、元気になれる体操講座です。	5～7月 10回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 みんなで ハマトレチャレンジ	横浜市健康福祉局の推奨する、ハマトレをみんなで体験してみます。 何歳になっても元気で歩ける身体づくりを目指すハマトレは、やってみると意外とハードです。 高齢者だけでなく、お仕事で忙しく運動不足な若い世代にもぜひ体験していただきたい講座です。	5～3月 6回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 ノルディック ウォーキング	青葉ノルディックウォーキング協会の方々の協力で開催します。 2本のポールを使ってウォーキングする「直立4足歩行」。通常のウォーキングでは使わない腕や肩の筋肉を動かして、ストレスをかけずにエネルギー消費を高める効果があります。又、運動の苦手な方でも手軽に始められ、基礎体力作りや、生活習慣病対策、ダイエットに効果があります。 外を歩きながら楽しくおしゃべりしたり交流も深まります。	5月 3回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 歯科医師に学ぶ 口腔ケア	近年、全身の健康だけでなく精神面にも影響を及ぼす高齢者の口腔ケアの重要性が説かれています。 歯科医師から正しい口腔ケアの方法を学び、歯を健康に保つことは、感染症予防になり、脳を刺激して老化を防ぎ、運動能力を高めめます。	10月 

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 歌って健康♪	軽く身体をほぐす準備体操から入り、発声練習をしたあと、「日本の歌百選」に選ばれた誰でも知っている曲をピアノの伴奏で歌います。 大きく深く息を吸って大きな声で歌うことは、肺活量の強化にもなり、健康促進の効果があります。またシルバーの方を中心に仲間づくりのきっかけともなります。	4月～3月 (8月・1月は休み) 10回 

【健康づくり・生きがいづくり】 からだチェック 測定会	美しが丘西地域包括支援センター・青葉区福祉保健センター高齢障害支援課・横浜市体育協会・山内西地区保健活動推進委員・地域の病院・地域の薬局と共催・協力して、午前と午後の2回に分け、体育室で開催します。 下肢筋力・反射能力・握力・身長・体重・血管年齢・バランス能力・柔軟性・骨強度などを測定し、地域の病院院長による医療相談も受けます。 年に一度定期的開催することにより、前年の数値と比較し励みにもなります。	6月 1回 
-----------------------------------	---	--

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【健康づくり・生きがいづくり】 認知症サポーター 養成講座	認知症キャラバンサポーターによる認知症サポーター養成講座を開催します。認知症の正しい知識や認知症の方との関わり方を理解することで、認知症の方へ応援が出来るように学び、サポーターの中からまちづくりの地域リーダーとしての担い手となる人材が生まれることを期待します。同じ会場で相談窓口である地域ケアプラザや包括支援センターの活動を知ることが出来るパネル展を開催します。	6・12月 2回 




横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
<small>〔人と地域のつながりづくりづくり〕</small> ロビーコンサート	無料で地域の方々に音楽を楽しんでいただく憩いのひとときを提供します。 耳馴染みのある曲目・季節感のある音楽を中心に1時間ほどのコンサートを開催します。出演者のトークを交えながら、皆で口ずさめる歌も挟み、気軽に楽しめる内容です。	9月・3月 2回 
<small>〔人と地域のつながりづくりづくり〕</small> 小さなチャリティーバザー	コンサートなど来館者が多い機会に、利用者から寄贈いただいた品でバザーを開催します。 職業体験に来る中学生に値札付けなどしてもらい、意義を共有します。 売り上げは災害支援などに募金します。	3月 1回 
<small>〔人と地域のつながりづくりづくり〕</small> こいのぼりを作ろう	台紙やおりがみ・布などを用意して、年齢問わず手作りのこいのぼりを作って、子どもたちの健やかな成長を祈ります。 キットはお持ち帰りいただいても館内に飾ってもよいようにします。	4月 1回 
<small>〔人と地域のつながりづくりづくり〕</small> ハロウィンイベント	地域の自治会の協力により、10月31日のハロウィンにちなんで、仮装をして来館した子どもたちに小さなプレゼントを渡します。 毎年地域のシニアと子どもたちの間であたたかな交流が育まれています。	10月 1回 
<small>〔人と地域のつながりづくりづくり〕</small> 新春囲碁大会	美しが丘西地区センターで活動している「ササの会」「たけのこの会」の協力で開催します。 小学生から大人まで参加して、初級・中級・上級に別れて対局します。小学生と大人の対局もあり、世代間交流に役立ちます。 お昼を挟み、一日中囲碁三昧。順位付けや参加賞などもあり、一年に一度のこの日を楽しみにしている方も多い大会です。	1月 1回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書 (単表)


団体名 公益社団法人横浜市民施設協会


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
<small>【人と地域のつながりづくりづくり】</small> おもちゃの病院	<p>「横浜港北おもちゃドクターの会」の協力で年2回開催します。</p> <p>定期的に行なうことで、おもちゃが壊れても捨てずにとっておいて持ってくる子どもたちも増えました。ドクターが治療している様子を目をキラキラさせて見えています。物を大切に作る心をはぐくみます。</p>	8月・2月 2回 
<small>【人と地域のつながりづくりづくり】</small> たなばたを楽しむ	<p>毎年1階ロビーに大きな笹を飾り、みなさんに短冊にお願いごとを書いていただきます。子どもから大人まで楽しんでいただきます。</p>	7月 1回 
<small>【人と地域のつながりづくりづくり】</small> 映画上映会	<p>懐かしい映画を会議室で上映します。</p> <p>若い世代には新鮮に、昔見た世代には懐かしく思い出がよみがえります。</p> <p>飲み物もお出ししてゆっくりと過ごしていただきます。</p>	6・1月 2回
<small>【人と地域のつながりづくりづくり】</small> 車椅子等 福祉体験講座	<p>車椅子や杖等の福祉用具を実際に体験する講座で、利用している方々の大変さやを学びます。</p> <p>福祉法具を利用している方を町で見かけた際の声掛けやサポートに踏み出せず一歩になり、「誰もが自分らしく暮らせるまちづくり」に繋がることを目指します。</p>	9・2月 2回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 Chat in English	月に1回(4.8.12月除く)ネイティブスピーカーの講師を招き、初心者レベルと日常会話レベルに分かれて英語でトークを楽しみます。 夜間の開催なので、社会人も参加しやすい講座です。 講師が提案する話題に、初級はYesかNoで答え、中級は考えを述べる等、幅広い英語力の方が集えます。	5~3月 9回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 源氏物語講座	カリタス女子短期大学の講師をお招きして毎年開催しています。 千年前に完成し、現在も読み継がれている源氏物語。その背景や構成を知ることによって、もっと深く味わえます。講師のわかりやすい説明と楽しいトークが大変好評です。	1月 3回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 外国語でカフェ	国際交流の一環としてスペイン語・イタリア語・韓国語・中国語などの会話能力向上を目指し、ネイティブ講師から学んでいきます。 地域の外国人への関心と理解につながる一歩にもなります。 幅広い年代が参加できるように、日曜日に開催します。	10月~1月 4回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 地元の歴史・文化散策	地元の講師を招き、知らなかった地元の歴史や人物・産物・地名などをスライドを使って座学で学んだ後、実際に現地を歩きます。 散策の新しい楽しみを増やし、地元への愛着が深まります。	10月 1回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 パン作り	料理室の稼働率アップを目的として、午後の時間開催します。サークル活動の継続に期待します。	4月～3月 10回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 地場産野菜料理	地域の野菜生産者の協力で、野菜を提供していただきます。数種類のジャガイモを使った料理をそれぞれの特徴を生かしたものに作り上げます。それぞれのジャガイモを蒸して、素材そのものの味わいも楽しめます。生産者にジャガイモのお話をさせていただくなど交流にも役立ちます。	6月 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 和菓子作り	体験する機会の少ない和菓子作りですが、はじめてでも取り組みやすい2種を作ります。合わせて、春夏秋冬の和菓子の歴史や特徴にも触れます。	6.9.11.2月 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【趣味・教養】 クリスマスケーキ作り	ハードルの高いケーキ作りに、講師にコツを教えてもらいながらチャレンジします。市販の商品にはない良さを味わいます。	12月 1回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て支援】 おはなし会 「まほうの とびら」	未就園児を対象とした、絵本や紙芝居、読み聞かせ・手作りのパネルシアター・エプロンシアターを行います。 子どもには本を通して、好奇心を育み、想像力と語彙力を育てます。保護者には絵本の読み聞かせ方法を知る機会として開催します。	4月～3月 (8月はお休み) 11回 

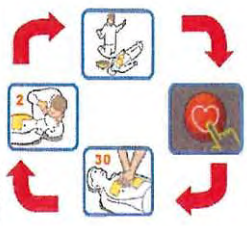



事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て支援】 今どきの 子育て事情	時代とともにますます複雑化、孤立化している今どきの子育てについて、子育て支援施設の職員から、現状を聴く。 子世代、孫世代のことを理解し、地域として、子育てを支援できる空気感を醸成する。 子どもは未来の宝であり、地域の宝であることを、共有する。 10年先も子育て世代が住みやすい街となるように。	7月 1回 1回 

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て支援】 インスタ映えす るお弁当	子どものお弁当は、お父さん・お母さんにとって、大きな負担になってしまいます。可愛いお弁当を作って、インスタ等のSNSで発信してみましょう。子どもの『美味しい!』もうれしいですが、いろいろな人と繋がって、情報交換すると、また別のやりがいが見えてきます。見た目重視のお弁当講座です。	5月 1回 

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て支援】 ふれあい親子 リトミック	プレイルームで、0歳児・1歳児・2歳児の3コースに分かれて開催します。それぞれの発達に合わせた音楽内容で、キーボードの伴奏に合わせて親と子のリズム体操を行います。 赤ちゃんとお母さんのふれあいを深めるとともに、子育てで家に閉じこもりがちな保護者同士の交流にも役立ちます。 他所で幼児教育に携わる講師が子育ての相談に乗り、専門家のアドバイスを受けられる貴重な場です。	4月～3月 (8・12月は休み) 10回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書 (単表)


団体名 公益社団法人横浜市民施設協会


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【防災への取組】 救命講習会	青葉消防署の協力で、いざという時、素早く・適切な判断・処置ができるように応急手当の知識等を学びます。 乳幼児の心臓マッサージの方法、高齢者発生しやすい事案と対処法、AEDの使い方なども行います。 地域の方の安全に役立つ講習です。	9月 1回 
【防災への取組】 防災食講座	ライフラインが止まった時、台所用品がない時、長期保存のできる食材や缶詰・市販のお菓子で作れる防災食などを実際に調理・試食して災害に備える準備のひとつとします。 また地域の自治会と連携して、近隣の広域避難場所や、防災拠点について学習し、神奈川シェイクアウト運動も体験します。	9月 1回 
【わんぱくホリデー】 放課後 クラフトくらぶ	学校が早く終わる水曜日の放課後、子どもたちの安心・安全な居場所を提供します。 地域のボランティアの皆さん・職員・スタッフ等で構成したメンバーと子どもたちで、ちょっとした工作を楽しみます。 世代間交流を促進し、地域で成長していく子どもたちを、みんなで見守る機会となります。	偶数月他 8回 
【わんぱくホリデー】 科学講座	科学大好き青少年を育成する活動に約20年の実績を持つ「ひととゆめのネットワーク」のみなさんにご協力をいただき、身近な素材で行う科学体験講座です。 普段の何気ない生活の中に潜んでいる子どもたちの「なぜ?」「どうして?」といった素朴な疑問を持つアンテナを養います。 また、疑問を解決した時の喜びを味わうことにより、問題に向き合い、深く追及する探究心も育みます。	4月頃 1回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 母の日の プレゼント	母の日に向けて、プレゼントを手作りします。 おかあさんに限らず、子どもたちが感謝の気持ちを伝えたい人を、心の中に思い描きながら作成します。 また、感謝の気持ちを言葉に表したカードも添えます。 令和元年度はカルトナージュボックスを作り、とても好評をいただきました。	5月 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 父の日の 親子クッキング	父の日の企画として、親子でのクッキングを楽しみます。 普段なかなか一緒に料理することがないであろうお父さんと一緒に力を合せて料理を作り、親子のコミュニケーションも図ります。	6月 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 夏休み読書 スタンプラリー	夏休みを利用して、読書に興味を持つきっかけを作るスタンプラリーを開催します。 当館で借りて読んだ本のあらすじや感想を、窓口のスタッフに聞かせてくれた子のカードにスタンプを押します。 ・本1冊につきスタンプ1個 ・スタンプ3個で、ささやかなプレゼント 感想をスタッフに話すことが、人に自分の思いを伝える練習にもなります。子どもが読書習慣を身につけることにより、その家族の読書意欲を高める効果も望めます。	夏休み期間中 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 夏休み サッカー体験！	なでしこリーグに所属する地元チーム「日体大 FIELDS横浜」の選手のみなさんを講師に迎えたサッカー体験教室です。 プロリーグの選手のテクニックを間近に見て、参加者は感動し、また憧れの思いを抱き、目標にすることにもなります。 また、この体験をもとに、地元チーム愛も芽生え、試合に足を運ぶようになり、地域の盛り上がりにもつながります。	8月 1回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 夏休み 将棋教室	夏休みを利用して、「将棋教室」を三日間に渡り開催します。 日本将棋連盟将棋指導員の方に指導していただきます。 将棋の基本である駒の動かし方や、詰め将棋を学び、三日間じっくり将棋と向き合います。 また、みんなで対局も楽しむためのトーナメント戦も開催します。 講座の終わりには、日本将棋連盟発行の「棋力認定書」を受け取ることができ、達成感を感じながらも、更なる棋力アップへの情熱を育てます。	8月 3回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 夏休み 卓球教室	近年大人気の卓球に挑戦します！ 1・2日めは、基本の打ち方とルールを学び、最終日には試合と、段階を踏んだ講座です。 大人を相手に打つことにより、ラリーが続くことの喜び・楽しみも覚えられ、更なるレベルアップへの意欲へと繋がります。	8月 3回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 夏休み プログラミング体験	小学校で必修化された「プログラミング教育」にスポットを当て、パソコンを使った基礎的動作を学びます。 ITサービス提供企業の元社員の方を講師にお迎えし、順序立てて物事を考える→実行に移すといった動作を、パソコンに命令し実行するといった形で反映し、論理的思考力を身につけます。	8月 1回 


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 高校生と一緒に ラグビー体験	2019年度のワールドカップ開催で人気に火が点いたラグビーを、桐蔭学園高等学校のグラウンドで体験します。 同校ラグビー部は、全国高等学校選抜大会での優勝実績を誇り、そんな強豪校の選手たちのプレーを目の前で見ることにより、将来への憧れ・希望を膨らませることもできます。 ルールの説明や選手との会話を通して、ラグビーへの興味や知識を深めます。	8月 1回 


横浜市藤が丘地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人横浜市民施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 おこづかいセミナー	プロのファイナンシャルプランナーやライフプランナーを講師として招き、すごろくを取り入れたおこづかい講座です。参加対象は幼稚園年中～小学校2年生までのお子さんと保護者のペアで、おもちゃのお金を上手に使ってコマを進めることにより、金銭感覚を身につけていきます。	8月 3回 

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 おまつり和太鼓	日本古来の楽器である「和太鼓」にたっぷり触れる3日間です。和楽器は礼に始まり礼に終わるため、作法も自然と身に付きます。また、全身運動により、体幹も鍛えられ、同時にリズム感を養います。11月のセンター祭りでは、お揃いのハッピを着て、大勢のお客様の前で発表します。	10月 3回 

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 みんなで書道	毎年大好評の書道講座です。対象は小学3年生～中学生で、学年によりクラスを分けます。学校からの書き初め課題がある人は、お手本を持参してもらい、講師の指導のもと書き上げます。みんなで一斉に筆を走らせる姿は、圧巻です。	12月 1回 

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【わんぱくホリデー】 バレンタインのお菓子を作ろう！	バレンタインデーに向けて、お菓子を手作りし、ラッピングも楽しみます。家で作るには少し面倒な道具等の準備も、地区センターの道具を使うことにより軽減され、純粋にお菓子作りを楽しむことができます。かわいくラッピングして、写真に収めれば、SNS映えもします。	2月 1回 

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市藤が丘地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

（単位：千円）

提 案 額 (a)	36,262	指定管理料提案額＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	36,564	
差 引 (a) - (b)	▲ 302	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	99.2%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
利用料金収入 [A]	3,942	
自主事業収入 [B]	2,284	
雑入 [C]	1,539	
小 計 【ア】 ([A]~[C])	7,765	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	34,948	【ウ】 - 【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	1,314	[A] × 1/3
小 計 【イ】 ([D]~[E])	36,262	指定管理料の計
収入合計（【ア】 + 【イ】）	44,027	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	22,211	
事務費 [b]	1,795	
自主事業費 [c]	2,436	
管理費A（光熱水費等） [d]	5,688	
管理費B（保守管理費等） [e]	4,455	
公租公課 [f]	2,523	
事務経費 [g]	3,605	
小 計 【ウ】 ([a] ~ [g])	42,713	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	1,314	[E]と同額になります。
小 計 【エ】 ([h])	1,314	ニーズ対応費の計
支出合計（【ウ】 + 【エ】）	44,027	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。
 ※現在の消費税及び地方消費税は10%ですが、現段階では利用料金は据え置き（消費税及び地方消費税5%の内税）としています。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市藤が丘地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位:千円)

	項 目	内 容 等	金 額		
利用料金収入	部屋利用料金	同規模施設を参考に算出	ア	3942	
			イ		
			ウ		
			エ		
			オ		
			カ		
			キ		
			ク		
		ケ			
	小 計		[A]	3,942	ア～ケ
自主事業収入		同規模施設を参考に算出	コ	2284	
			サ		
			シ		
			ス		
		セ			
	小 計		[B]	2284	コ～セ
雑入	印刷代	同規模施設を参考に算出	ソ	367	
	自動販売機手数料	同規模施設を参考に算出	タ	1168	
	その他		チ	4	
			ツ		
			テ		
			ト		
	小 計		[C]	1539	ソ～ト

小 計 【ア】	施設運営収入計	7,765	[A]～[C]
---------	---------	-------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。
 ※利用料金収入については、現段階で据え置かれている利用料金（消費税及び地方消費税5%の内税）から見込んだ額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	公益社団法人横浜市民施設協会
施設名	横浜市藤が丘地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

(単位：千円)

項目	内容等	金額		
人件費	正規雇用職員	ア	11,286	
	臨時雇用職員	イ	10,251	
	対象外の人件費	ウ	674	ウ-1~ウ-4
	通勤手当	ウ-1	468	
	健康診断費	ウ-2	26	
	勤労者福祉共済掛金	ウ-3	0	
	退職給付引当金繰入額	ウ-4	180	
	小計	[a]	22,211	ア~ウ
事務費	旅費	エ	24	
	消耗品費	オ	750	
	会議館い費	カ	10	
	印刷製本費	キ	10	
	通信費	ク	200	
	使用料及び賃借料	ケ	74	ケ-1~ケ-2
	横浜市への支払い分	ケ-1	52	
	その他	ケ-2	22	
	備品購入費	コ	100	
	図書購入費	サ	150	
	施設賠償責任保険	シ	25	
	職員等研修費	ス	10	
	振込手数料	セ	40	
	リース料	ソ	169	
	手数料	タ	230	
	地域協力費	チ	3	
		ツ		
		テ		
小計	[b]	1,795	エ~テ	
自主事業費		[c]	2,436	
管理費 A	電気料金	ト	2,841	
	ガス料金	ナ	2,051	
	上下水道料金	ニ	796	
	小計	[d]	5,688	ト~ニ
管理費 B	清掃費	ヌ	656	
	修繕費	ネ	560	
	機械警備費	ノ	132	
	設備保全費	ハ	3,107	ハ-1~ハ-6
	空調衛生設備保守	ハ-1	1,377	
	消防設備保守	ハ-2	111	
	電気設備保守	ハ-3	1,019	
	害虫駆除清掃保守	ハ-4	0	
	駐車場設備保全費	ハ-5	0	
	その他保全費	ハ-6	600	
	共益費	ヒ	0	
	フ			
	ヘ			
小計	[e]	4,455	ヌ~ヘ	
公租公課	事業所税	ホ	0	
	消費税	マ	2,523	
	印紙税	ミ	0	
	その他()	ム	0	
小計	[f]	2,523	ホ~ム	
事務経費	本部分	メ	180	
	当該施設分	モ	3,425	
	小計	[g]	3,605	メ~モ
小計【ウ】	施設管理運営経費計	42,713	[a]~[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。

経営方針

1. 地域と積極的に連携して、生き生きとした暮らしや活力ある地域社会の実現を図ります。
2. 利用者や地域のニーズに真摯に対応し、満足度の高いサービスを追求めます。
3. 公共性と公益性を基本とし、公平、コンプライアンス、透明性を確保した施設経営を進めます。
4. 様々な施設間の連携を密にし、サービス向上など相乗効果を発揮した経営を進めます。



あゆみ

- 平成 7年 3月 「青葉区区民利用施設協会」(前身団体)設立
青葉区内の区民利用施設の管理運営開始
- 平成 18年 4月 指定管理者として6指定管理施設の管理運営開始
- 平成 22年 4月 「一般社団法人青葉区区民利用施設協会」設立
前身団体を引継ぎ法人組織として活動するため設立
- 平成 23年 4月 新法人として6指定管理施設と7受託施設の管理運営開始
- 平成 25年 4月 共同事業体指定管理者として青葉区民文化センター・
フィリアホールの管理運営開始
- 平成 26年 2月 「公益社団法人横浜市民施設協会」に法人名変更
- 平成 28年 4月 8指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営
- 令和元年 5月 荏田コミュニティハウスの管理運営開始
9指定管理施設、7受託施設、1共同事業体指定
管理施設を管理運営



組織概要

組織名称	公益社団法人横浜市民施設協会
所在地	〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野 2-9-22-302
連絡先	TEL : 045-482-9572 FAX : 045-482-9573
法人設立	平成 22年 4月
公益認定	平成 26年 2月
代表者	代表理事 松澤孝郎
役職員数	社員 21名 (うち、理事7名、監事3名) 職員 156名 (常勤職員 26名 時給職員 130名)

特色

1. 運営体制

施設運営のノウハウの蓄積があり、接遇・人権・危機管理研修の実施等により、適切な管理運営体制を確立しています。

- 施設毎の緊急時マニュアル
- 非常時用品の備蓄
- オリジナル「接遇ハンドブック」

face to face で、地域密着型のアットホームな人間関係を築いています。スタッフは全員、施設近隣の住民です。

2. 自主事業

地域のニーズを把握して、年齢・性別に偏らず、教養・工芸・音楽・料理・スポーツなど、広範にわたりバランスの良い事業を展開しています。年間事業数約 500 講座 (開催回数 800 回)。

延参加者数 58,000 人。

- *子育て支援講座
- *小中学生対象のわんぱくホリデー講座
- *チャリティーコンサート・バザー・ピンクリボン啓発活動等
社会貢献事業
- *複数館でのコラボ企画 (青葉歴史探訪等)

3. 地区センターの部屋予約

協会独自で開発した部屋予約システム“さ～くるデータ”にご登録いただくことで、当協会指定管理の4地区センターをご利用いただけます。また、ご予約には、窓口・電話のほかWebもご利用いただけます。



日頃から、当協会が運営する地区センター・コミュニティハウス等をご利用いただき、誠にありがとうございます。

私たちは、「公の施設」の管理運営を通じて、地域の皆様が、気軽に趣味やスポーツ、学習などのサークル活動により、生き生きとした潤いのある時間を過ごしていただくことで、「健康で活力のある暮らしづくり」、「ふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成」のお手伝いをするのが使命であると考えています。

地域交流の輪づくりに少しでもお役に立ちたい。今日ここで出会えたことがいい思い出になってほしい。日々そう願って、皆様のお越しをお待ちしております。

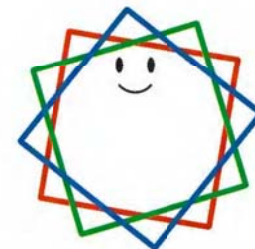
職員一同

公益社団法人 横浜市民施設協会

〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-9-22-302
TEL:045-482-9572 FAX:045-482-9573



横浜市民施設協会



あつまる・つながる・笑顔になる

